

2022年10月7日

ボート部 監督 岡部政憲  
顧問 藤川浩史  
主将 御手洗航  
文責 二宮由紀子

## 第77回国民体育大会 今治造船ボート部 遠征報告書

題記遠征につきまして、以下の通り御報告申し上げます。

日程：2022年10月1日～4日

場所：栃木県栃木市 / 谷中湖特設ボートコース（渡良瀬遊水地谷中湖北ブロック）

### 【試合内容詳細及び順位】

- 成年男子ダブルスカル 愛媛県選抜/今治造船（木村・越智） **準優勝**
- 成年男子シングルスカル 愛媛県選抜/今治造船（御手洗） **7位入賞**

10月1日 大会1日目

### 成年男子シングルスカル 予選D組

谷中湖特設ボートコース  
10月01日 15:40

順位	選手名	所属	記録	備考
1	若崎 晴斗	石川(石川選抜)	3分36秒 50	準決勝へ
2	御手洗 航	愛媛(今治造船)	3分38秒 11	準決勝へ
3	林 仁哉	大分(大分県選抜)	3分38秒 12	準決勝へ
4	奥村 晋太郎	滋賀(滋賀選抜)	3分38秒 38	敗者復活戦へ
5	横尾 剛士	栃木(栃木選抜)	4分10秒 23	敗者復活戦へ

## 成年男子ダブルスカル 予選I組

谷中湖特設ボートコース  
10月01日 16:04

順位	所属	メンバー	記録	備考
1	愛媛(今治造船)	木村 越智	3分13秒 37	準決勝へ
2	兵庫(兵庫選抜)	古米 福井(修)	3分17秒 33	敗者復活戦へ
3	広島(広島大)	都留 鈴木	3分30秒 35	敗者復活戦へ
4	沖縄(沖縄選抜)	安間 安里	4分9秒35	敗者復活戦へ

10月3日 大会3日目

## 成年男子シングルスカル 準決勝A組

1着は決勝へ、2着は5~8位決定戦へ  
谷中湖特設ボートコース  
10月03日 13:06

順位	選手名	所属	記録	備考
1	大元 英 照	宮城(宮城選抜)	3分29秒 52	決勝へ
2	御手洗 航	愛媛(今治造船)	3分33秒 76	5~8位決定戦へ
3	大下 陽 士	神奈川(神奈川選抜)	3分36秒 48	
4	氏原 大 舜	静岡(静岡県選抜)	3分44秒 66	

## 成年男子ダブルスカル 準決勝D組

1着は決勝へ、2着は5～8位決定戦へ  
谷中湖特設ポートコース  
10月03日 14:34

順位	所属	メンバー	記録	備考
1	愛媛(今治造船)	木村 越智	3分9秒46	決勝へ
2	富山(富山国際大)	内野 渡辺	3分11秒58	5～8位決定戦へ
3	兵庫(兵庫選抜)	古米 福井(修)	3分11秒90	
4	茨城(日本製鉄)	佐藤 木村	3分13秒04	
5	島根(島根選抜)	丹下 永田	3分17秒89	

10月4日 大会4日目

## 成年男子シングルスカル 5～8位決定戦

谷中湖特設ポートコース  
10月04日 11:18

順位	選手名	所属	記録	備考
5	上戸 慧 太	香川(香川県選抜)	3分34秒75	
6	橋口 拓 未	宮崎(宮崎選抜)	3分36秒94	
7	御手洗 航	愛媛(今治造船)	3分40秒04	
8	奥村 晋 太郎	滋賀(滋賀選抜)	3分41秒73	

## 成年男子ダブルスカル 決勝

谷中湖特設ボートコース  
10月04日 12:14

順位	所属	メンバー	記録	備考
1	東京(NTT 東日本)	遠山 櫻間	3分9秒95	
2	愛知(ト ヨタ紡 織)	山尾 安井	3分12秒 18	
2	愛媛(今 治造船)	木村 越智	3分12秒 18	
4	滋賀(滋 賀選抜)	島田 鷺田	3分12秒 97	

### 【内容及び所見】

10月1日～4日、栃木県・谷中湖特設ボートコースにて「第77回国民体育大会」が開催され、当社ボート部の男子ダブルスカル(木村選手・越智選手)が準優勝、男子シングルスカル(御手洗選手)が7位入賞致しました。ダブルスカル種目においては創部以来、今治造船単独クルーでの最高成績となりました。

本大会は都道府県対抗試合として、少年/成年の2カテゴリーで行われます。2019年以降相次いで中止・延期となったため、2022年の栃木大会は4年ぶりの通常開催となりました。男子ダブルスカルの木村選手・越智選手のダブルは予選・準決勝を順調に勝ち上がりました。決勝レースではスタートで出遅れたものの、息の合った漕ぎで徐々に他艇との距離を詰め、写真判定の結果2着3着同時ゴールでの準優勝となりました。4艇横並びの大接戦のなか予選を勝ち上がった御手洗選手は準決勝で2着に入り、5～8位決定戦へ駒を進めました。5～8位決定戦では爆発的なスタートを見せ、中盤～ゴールを3位で粘り切りました。御手洗選手は初のシングルスカル種目での全日本大会入賞を果たしました。愛媛県選抜チームでは成年カテゴリーにおいて今治造船クルーのみが入賞し、地元企業として愛媛県チームに大きく貢献しました。

2022年シーズンの試合は本大会にて全て終了となりました。シーズン中は早上がり、遠征へのご理解とご配慮を賜り誠にありがとうございました。今シーズンは中日本選手権、西

日本選手権、そして全日本選手権での優勝と、男子クォドルプル種目を中心に数々の結果を残すことができました。来年度の更なる飛躍の為、オフシーズンは練習と社内向けボート教室等の活動に励みます。





#### 【本大会でのトピックス】

本大会 1 日目には NSY 東京/東京正栄から 4 名の方にお越し頂きました。

ボート部の試合に度々足を運んで頂いている方々であり、選手たちにとっては普段仕事で接点を持ちづらい在東京の皆様と、ボート競技という合言葉によって繋がることのできる貴重な機会となっております。在東京の皆様には関東方面への遠征時、荷物を保管して頂く等ご協力を頂いており、部員一同大変感謝しております。

本大会でのダブルスカル準優勝、シングルスカル 7 位入賞で少しでも恩返しできていましたら幸いです。

本大会 2 日目以降は各選手の所属部署の社員を招待し、実際に選手たちが競技で活躍する姿を見て頂きました。ボートが進む姿を初めて生で見た、1000m レースを初めて観戦したことで競技のスタートの瞬間を見ることができた、と大変喜んで頂きました。各選手が仕事で活躍する顔とボート選手として活躍する顔の双方に魅力を感じて頂くということは当社ボート部の活動理念にも繋がっております。また、社外からは SNS を通じて応援して頂いている皆様にも足を運んで頂き、選手から直接御礼の言葉を述べることもできました。2022 年シーズンは特に SNS 発信に注力してきた結果、コロナ禍以前に活発であったファン交流を復調・発展させることができています。

